



春告げる「七間朝市開き」

- 左 大勢の買い物客でにぎわう朝市
- 右上 人力車も運行を再開
- 右中 春を感じさせるフキノトウ
- 右下 招福菓子まき



特集

新・大野市へ合併調印 当初予算の概要

4月号

新市発展に協力を確認

合併協定調印式は、両市村の関係者など約八十人が出席して行われました。

協定調印に至るまでの経過報告の後、天谷光治市長と山本一郎村長が合併協定書に署名して押印。立会人の合併協議会委員、特別立会人の西川一誠知事、山田庄司、山岸猛夫両県議会議員が署名を行いました。

天谷市長は「地方財政が厳しくなる中、地方分権や行政課題、住民ニーズに対応していくためには合併は避けて通れない。両市村は合併特例法に基づく優遇措置を受けながら、基礎的自治体として足腰を鍛え、新た

なまちづくりに向けて力を合わせることを選択した。合併しても財政が厳しいことには変わりはないが、さらに行政改革を進めて新市建設に向けて努力したい」とあいさつ。

山本村長は「昭和三十一年に上六馬村と下穴馬村が合併して和泉村が誕生した。二年後に石徹白村の一部が加わり現在に至っている。合併による地域の変遷を身をもって体験したので、合併後の地域づくりには不安と期待がある。調印を契機に和泉村がスムーズに大野市に編入し、一日も早く村民の不安を解消し、融和関係を構築して新たなまちづくりに向けて力を合わせたい」と語り、新市の発展に向けて一致協力していく

ことをあらためて確認しました。平成の合併としては、県内六例目となる今回の調印。合併後の市の人口は四万人余り、面積は県内最大の八百七十二平方メートルとなります。

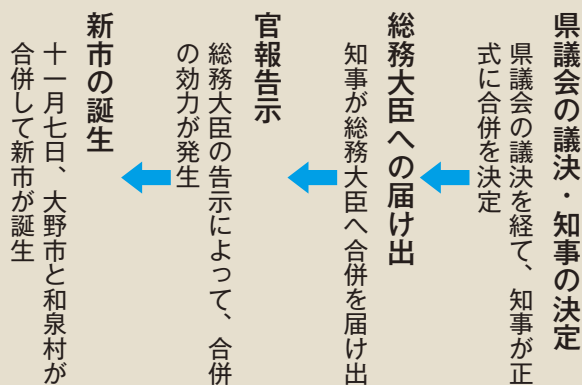
両市村議会で可決

三月三日から二十三日にかけて開かれた定例市議会で「大野市及び大野郡和泉村の廃置分合」や「廃置分合に伴う財産処分に関する協議」など合併関連議案四件が審議され、いずれも提案通り可決されました。同じく和泉村議会でも、合併関連議案を可決。両市村の合併協議がすべて整ったことから、三月二十五日に知事へ合併申請を行いました。

新・大野市へ合併調印

大野市と和泉村との合併協定調印式を、二月二十五日に有終会館で開催しました。三月には両市村議会で合併関連議案を可決、知事へ合併申請を行いました。今後、県議会での議決を経て国への手続きを進め、十一月七日に新しい「大野市」が誕生することとなります。

合併までの流れ





調印を終えて握手を交わす（左から）
天谷市長、西川知事、山本村長

協議会は合併前日まで継続し、事務事業などの細部に関する調整に取り組みます。

協議会が合併前日まで継続し、事務事業などの細部に関する調整に取り組みます。

第十五回大野市・和泉村合併協議会が二月十七日、有終会館で開催されました。両市村で開催した住民説明会の報告を受け、合併協定の内容をあらためて確認。協定項目に関する協議をすべて終了しました。

協定項目に関する協議を終了

合併の必要性や効果、合併協定項目に関する説明のほか、参加者と意見交換や質疑応答を行い、合併に対する理解を求めました。

住民説明会を開催

二月五日から十日にかけて、両市村でそれぞれ四回の住民説明会を開催しました。



新しいまちづくり計画

新しいまちづくり計画（市町村建設計画）は、市の将来像や施策の方向性を示すものです。まちづくりの基本方針を定めるとともに、これに基づき施策や財政計画を策定しました。計画の期間は、平成十七年度から二十六年までの十年間です。

将来像と基本理念

計画では、新市が目指す将来像とその実現に向けた基本理念を次のように定めました。

〈新市が目指す将来像〉

九頭竜の源流と城下町が育む
うるおいと活力の宝庫

〈まちづくりの基本理念〉

新たな発見と強い絆で創造するまちづくり

新市には、九頭竜川が代表する「自然」、永い時を刻んだ「歴史」、郷土が培った「人」など、次世代に受け継ぐべき宝があふれています。

これらの宝を、一人ひとりが手を取り合い、新たに発見し、強い絆で創造していくことを、新しいまちづくりの基本的な考え方としました。

重点プロジェクト

まちづくりの基本理念に基づき、新市が実施する施策の柱を、環境・知恵・安心・快適・交流・活力の六項目にまとめました。

さらに各分野を横断し、優先的、重点的に取り組むものとして、次の五つを重点プロジェクトに位置づけました。

【交通ネットワーク】

中部縦貫自動車道や国道の整備を促進し、東海方面との経済活動や文化交流の連携を強化する。

大野市と和泉村を結ぶ国・県道の整備を促進し、地域住民や観光客の行き交う地域間交流を強化する。

JR越美北線や路線バスなどの公共交通機関の利用促進を図る。

【地域情報化】

情報通信基盤の高度化やネットワーク化に取り組み、住民生活や産業活動の高度情報化を図る。

【森林ランドデザイン】

自然環境の保護・保全、活用を進め、自然との調和・共存をテーマとした総合的な事業を展開する。

恵まれた自然資源・観光資源を生かした地域活性化を図る。

【学びの里】

市全体を歴史・文化や自然環境を生かした学習の場として位置づけ、身近に学習・体験できる拠点づくりや人づくりに取り組む。

【市街地活性化】

交流・観光の拠点、地域産業活性化の拠点として市街地の整備を図る。

新市全体に点在する資源や人材のネットワーク化に取り組み、市街地をはじめ市全体の活性化を図る。

九頭竜の源流と城下町が育む うるおいと活力の宝庫

—新たな発見と強い絆で創造するまちづくり—

特集 合併調印

新市の財政計画

新市の財政計画は、健全な財政運営を行うことを基本に、地方交付税や国・県からの補助金などの現行制度が、今後も継続されるものとして算定しました。

対象は、市の基本的な歳入・歳出を経理する一般会計。算定に当たっては過去の実績を基に、社会情勢や経済情勢などを考慮しました。

合併による財政効果

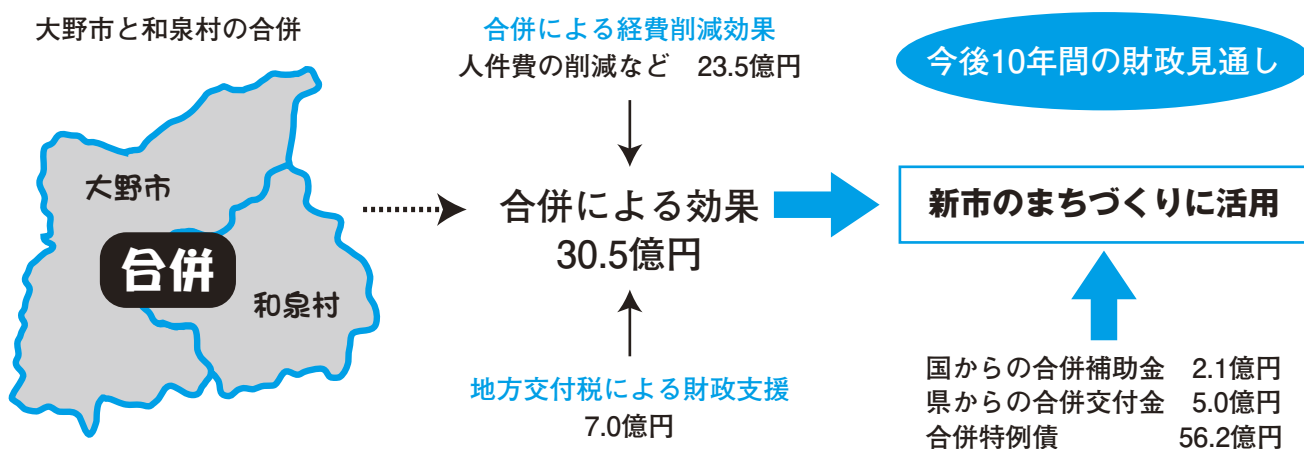
合併による財政効果には、人件費の削減や共通経費の削減などがあります。

合併後の十年間で、人件費の削減などによる経費削減効果二十三億五千万円と、地方交付税による財政支援七億円を計上。「新しいまちづくり計画」に盛り込んだ事業については、合併特例債の起債や、国庫補助金・県交付金などから六十三億三千万円の効果を見込みました。

【合併特例債】

合併特例債とは、市町村建設計画に基づく公共施設の整備や基金の造成のために利用できる地方債（地方自治体の長期借入金）のことです。

元利償還金の七割が、普通交付税として国から交付されます。



主な合併協定項目

大野市・和泉村合併協議会では、15回の協議会を通して、21項目の合併協定項目を取りまとめました。その一部を紹介します。

合併の方式 大野郡和泉村を廃し、その区域を大野市に編入する編入合併とする

合併期日 平成17年11月7日とする

新市の名称 大野市とする

新市の事務所 現在の和泉村役所の位置とする

財産の取り扱い 和泉村の財産と債務は、すべて大野市に引き継ぐ

和泉村議会の議員 大野市議会議員の残任期間、大野市議会の議員として引き続き在任する。ただし、その人数は3人とする

和泉村農業委員会の委員 大野市農業委員会の残任期間、選挙により選ばれた農業委員のうち2人を大野市農業委員会の委員として在任する。またこの期間に限り、選任による委員を1人増員し、和泉村の区域から選出する

地域審議会 和泉村の区域を対象とする地域審議会を設置する。設置期間は平成27年3月31日まで。和泉村の区域に関する市町村建設計画の変更や執行状況などについて、市長の諮問に応じて審議・答申したり、意見を述べたりできる

地方税 原則として大野市の制度に統一する。ただし、国民健康保険税は、合併年度に限り現行税率によるものとする

一般職の職員 和泉村の一般職の職員は、すべて大野市の職員として引き継ぐ。定員適正化計画を見直し、定員管理の適正化に努める

条例、規則 大野市の条例、規則を適用する

事務事業 各種事務事業は、原則として大野市の制度に統一する。ただし一部施設については、現行のとおり引き継ぎ効率的な運営を行う

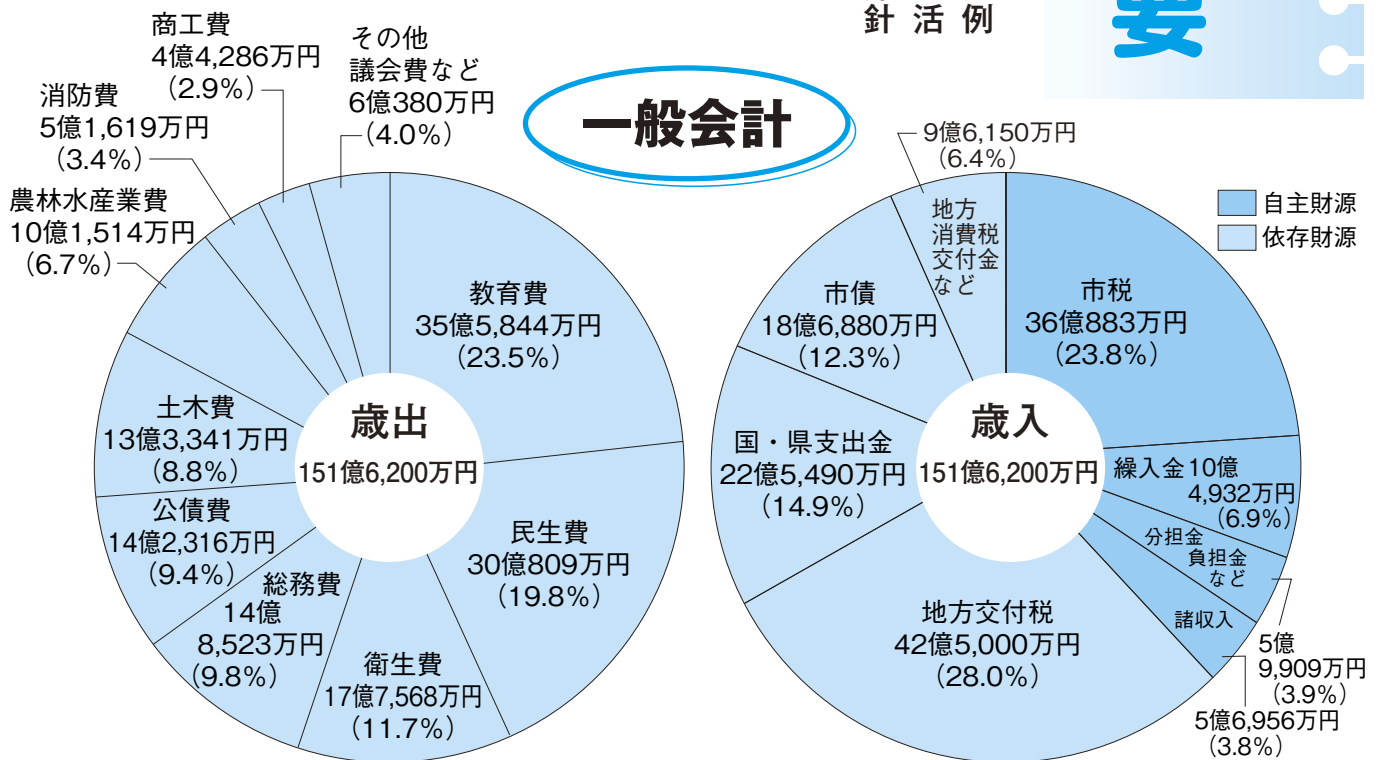
平成17年度 当初予算の概要

平成十七年度の当初予算案が、三月定例市議会で可決されました。中心市街地の活性化や、循環型社会の構築などを基本方針に編成した予算の概要を紹介します。

平成17年度当初予算額

区分	予算額	対前年比
一般会計	151億6,200万円	3.7%
特別会計	123億8,247万円	5.8%
企業会計 (水道)	2億8,270万円	2.8%
総額	278億2,717万円	4.6%

一般会計



一般会計

一般会計の予算額は、百五十一億六千二百万円、前年度と比べ三・七%の増となりました。

増額の主な要因は、平成十八年三月に完成予定のビックセンター建設事業費です。

歳入

市税は、個人市民税で前年度比一・三%、固定資産税で前年度比〇・七%の減額を見込みました。法人市民税は十・二%の増額。総額では前年度比〇・一%増の三十六億八百八十三万円となりました。

平成十六年度に大きく削減された地方交付税は、前年度と同額の四十二億五千万円を計上。市債は前年度比十五・二%増の十八億六千八百八十万円となりました。

歳出

今回の予算は、中心市街地の活性化に向けたまちづくりをはじめ、循環型社会の構築を目指した環境施策の推進、将来計画の策定による総合的な福祉施策の推進、地域経済活性化への積極的な取り組みなどを基本的な考え方としています。

その中でも、次の項目を重点推進事業として配分を行いました。

主な新規事業など

人 思いやりと豊かな心を育むまち

シビックセンター建設事業 20億1,664万円
有終西小学校と大野公民館、生涯学習センターの複合施設を建設（総事業費32億1,140万円）
市史発刊事業 985万円
市史第12巻「民俗・方言編」を発刊

環境 環境保全と美しい景観づくりのまち

あっ宝んど施設整備経費 4,638万円
広域ごみ処理施設から発生する余剰エネルギーを利用するための施設整備など
街なみ環境整備事業 1億4,170万円
旧内山家の背割り水路や百間堀周辺を整備

交流 人が集い心が響きあうまち

大野四季彩祭り事業 180万円
季節ごとに観光イベントを開催（さくらまつり、万灯会、味覚まつり、灯火とあったか市）
平成大野屋二階蔵関係経費 277万円
昭和初期の七間朝市を再現した模型の展示や、工作、縄ない、メンコなど昔遊び体験の実施
国民文化祭開催事業 900万円
国民文化祭の一環として「民謡・民舞の祭典」「ぎゅっ」とLIVE in ONOを開催

生活 住みたい・住み続けたいまち

越美北線通学定期券助成 400万円
越美北線の通学定期券に5割を助成
不妊治療費助成事業 100万円
不妊治療を受ける夫婦に対する治療費の助成
病児デイケア促進事業 992万円
病気などで集団保育が困難な児童の一時預かり
地方道路交付金事業 7,361万円
木本南北8号線、小山工業団地線、大野駅春日木本線の道路整備
城下町おおの定住促進事業 580万円
新規転入者の住宅取得や、中心市街地での共同住宅建設などに対する補助

その他

各種計画の策定 1,697万円
第4次大野市総合計画の後期計画、男女共同参画プラン、地下水保全管理計画、水の見えるまちづくり計画
住基・税システム合併時統合改修事業 8,710万円
和泉村との合併に向けた、住民基本台帳や税情報に関する電算システムの統合改修

特別会計

区分	予算額	対前年比
国民健康保険	33億39万円	14.9%
老人保健	45億7,339万円	5.5%
簡易水道	6,634万円	△14.8%
農業集落排水	8億1,961万円	34.0%
下水道	11億957万円	△14.0%
介護保険	25億1,317万円	△0.2%
総額	123億8,247万円	5.8%

▼会計の種類

【一般会計】

福祉や教育、道路の整備など、市の基本的な仕事を行う会計です。主に市税と地方交付税でまかなわれています。

【特別会計】

保険料や使用料など特定の収入で、事業の経費をまかなう会計です。一般会計と分けて経理することで、収支を明確にしています。

【企業会計】

民間企業と同じように、事業によって得た収入で支出をまかなう会計です。大野市では、水道事業が該当します。

※詳細は、五月に全戸配布する「大野市のしごと」をご覧ください。

- 重点推進事業**
- ・和泉村との合併
 - ・亀山周辺整備事業（シビックセンター建設）
 - ・中部縦貫自動車道の整備促進
 - ・水資源の総合的な保全と活用
 - ・「学びの里」づくり
 - ・地域経済の振興と雇用の促進
 - ・環境と調和した事業の推進
 - ・一般廃棄物処理施設（広域組合）の建設

例市議
定市議

一般会計7883万円を減額

16年度補正予算案を可決

三月三日から二十三日にかけて、第三百二十七回定例市議会が開かれました。平成十七年度の予算案をはじめ、十六年度の補正予算案など全三十三議案を審議。いずれも提案どおり可決・同意されました。

16年度予算の補正

一般会計の補正額は七千八百八十三万九千円の減額。補正後の総額は百五十六億七千万円で、前年同期比九・五%の増となりました。

主な内容は、防災マップの改訂など防災対策経費に三百二十三万四千円、除雪経費に五千万円を追加。大野・勝山地区広域行政事務組合負担金を五千九百四十六万八千円減額、中小企業資金融資預託金も一億千七百円の減額としました。

特別会計、企業会計を合わせた補正総額は二億七千三百三十三万二千円の減額、予算総額は二百八十億三千三百六十七万四千円となりました。

副議長に幾山氏

今定例会で、幾山秀一氏（五十一歳・橋爪）が副議長に選出されました。幾山氏は平成七年に市議会議員に初当選し現在三期目。総務文教、

産経建設、中部縦貫自動車道等整備促進の各委員会で委員長を歴任。



副議長
幾山秀一氏

また、各常任委員会と議会運営委員会の構成などが行われました。

常任委員会			議会運営委員会
総務文教	産経建設	民生環境	
◎島口敏榮 ◎笹島彦治 牧野 勇 竹内安汪 浦井智治 常見悦郎 畑中章男 松井治男	◎松田信子 ◎川端義秀 宮澤秀樹 兼井 大章 本田 幾山秀一 谷口彰三	◎米村輝子 ◎藤堂勝義 松原啓治 山本鐵夫 寺島藤雄 砂子三郎 榮 正夫	◎常見悦郎 ◎谷口彰三 山本鐵夫 島口敏榮 本田 章 砂子三郎

◎委員長 ○副委員長

ご利用ください 各種助成

越美北線の利用

対象 越前大野駅で、通勤・通学定期券や回数券、五人以上の団体で乗車券を購入した市民

※通学定期券は、平成十七年四月一日以降に購入したものに限り、また、運賃の五割

助成額 越美北線利用区間の購入費

申請方法

①通勤・通学定期券 有効期間の終了後一年以内に定期券を提示

②回数券 購入日から一年以内に、回数券の最終券（表紙）を提示

③乗車券 越前大野駅で発行される証明書を提示

必要なもの 助成金の交付を受ける口座の通帳（郵便局以外）と印鑑

駅プラン助成制度

対象 越前大野駅が企画する日帰り旅行プラン（駅プラン）を申し込んだ市民

助成額 一人当たり二千円

申請方法 旅行終了後三十日以内に越前大野駅で証明を受けた「駅プラン助成金交付申請書」を提示

太陽光発電などの住宅設備

対象となる設備

①太陽光発電設備

②屋根融雪・雨水再利用設備

補助件数 ①二十件②十五件

補助金額 各工事費用の九分の二以内（ただし①は、新エネルギー財団の補助金額分を減額した金額）

補助上限額 各四十万円

申込期間 四月十一日①～十一月三十日②

申込方法 所定の申込書に必要書類を添えて提出

その他 対象となるには、一定の要件を満たす必要があります

低公害車の購入

対象 平成十七年四月一日以降に、ハイブリッド車などの低公害車を市内で購入し、新車登録した個人または市内で事業を営む法人

補助件数 二十件

補助金額 低公害車と通常車両との価格差の四分の一

補助上限額 一台につき十二万円

申請方法 新車登録後三十日以内に申請書に必要書類を添えて提出

申請・問合せ先 生活環境課（☎66・1111内線463）

健康だより

足の裏を意識して

現代人は、歩く機会が減ったことや、靴・靴下を履くようになってきたことから、足の裏への刺激が少なくなつたといわれています。

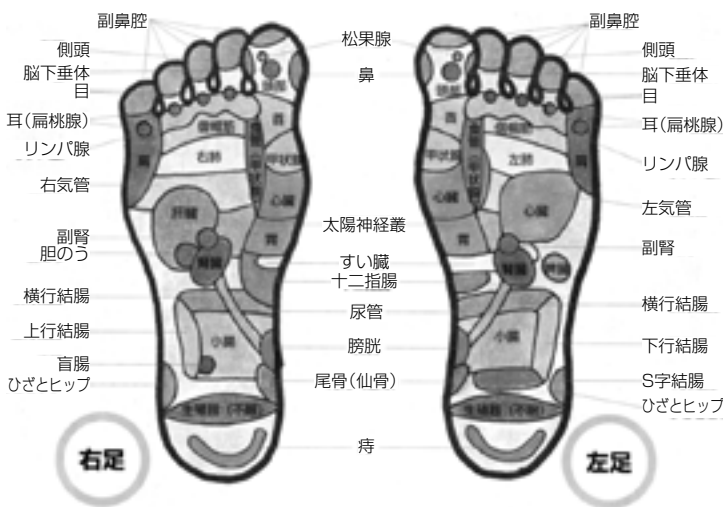
足の裏を刺激することは、バランス感覚を鍛え、正しい歩き方につながります。普段から足の裏を意識して健康づくりに取り組みましょう。

正しい姿勢で立っていますか？

両足をそろえて立ったとき、ぐらぐらする、体重が両足に平均してかからない、五本の指で体重を支えていない、と感じる人は正しい姿勢で立っていないと考えられます。

ひざ・腰・背中・首をまっすぐ伸ばし、足の裏全体で大地を踏みしめる感覚を意識し

健康おおの21
今月のキャッチフレーズ
「さあ歩こう！
それが健康管理の第一歩」



ツボ指圧で足裏を刺激

足の裏には全身のツボが集中しています。足の裏をマッサージすることで、体全体の緊張が和らぎ、血流も良くなります。

【ツボ指圧のポイント】

- 右足には右半身、左足には左半身のツボがあるので両足とも行う
- 呼吸のリズムに合わせて、五秒を目安にゆっくりと指圧する
- ツボを指圧して、痛ければ強く、気持ち良ければ軽く行う

読書のススメ



「万博」発明発見
50の物語

久島伸昭著 講談社刊

今月は、愛知県で開催されている「愛・地球博」にちなんで、万博の歴史について書かれた本を紹介いたします。

万博の歴史は150年余りありますが、その実態はあまり知られていません。著者は仕事で万博に携わることになり、万博について知ろうと研究を始めました。その研究の中から興味深いものを選んでまとめた本です。

大阪万博の入場者数6422万人が世界の万博史上、まだ破られていない記録であること、仏ワインが万博を通じて世界に広まったことなど、万博にまつわるさまざまなエピソードが50項目にわたって紹介されています。

みんなの図書館

新着図書

【一般小説】

透明な歳月の光 (曾野綾子) 雨よ
りせつなく (吉元由美) 漂う殺人
鬼 (ピーター・ラヴゼイ) きみに
読む物語 (ニコラス・スパークス)
【ノンフィクション】

【ノンフィクション】

「平家物語」を歩く (身延典子)
経済の地図帳 (日本放送協会) 調
理以前の料理の常識 (渡邊香春子)
昭和モダンキモノ (中村圭子) 大
人の言うことを聞きなさい! (佐
藤貴彦)

【児童図書】

【絵本】

オットー (トミー・ウングラー)
もしやもしやちゃん (マレーク・
ベロニカ) くらすみ小太郎旅日記
その5 (飯野和好) ガオ (田島征
三) アルフィーとくらやみ (エロ
ール・カイン)
その他、三百七十五冊入りました。

●あなたも紙面に参加しませんか。希望する人は、情報広報課広報広聴係まで
☎0779・66・1111（内線441）

「荒島岳」活用し

地域おこしや人づくり

荒島愛山会

ぐるーぷ登場



愛山会メンバーや登山愛好者約200人が参加した昨年の「山開き」

「荒島愛山会」ホームページ

<http://arasimadake.zive.net/aizankai/index.html>

小説家で、登山家としても知られる深田久弥氏の著書『日本百名山』に、県内で唯一選ばれている荒島岳（一、五三三・五三二）。

人に知ってもらい、全国に誇れるブランドとして定着させようと取り組むのが「荒島愛山会」です。

愛山会は平成十五年七月に設立され、会員は七十人を超えます。会長を務める畑中章男さんは「国道からのアクセスも良く、何といても頂上からの景色がすばらしい荒島岳を、地域おこしや人づくりに活用できればと思い設立しました。健康づくりや環境の保護などの目的を持って、活動していきたい」と設立のきっかけを語ってくれました。

会の活動として、山に登ったことのない人などを対象に「一度は登ろう荒島岳」や、冬山を楽しく厳しく体験する「荒島岳スノー登山」など市内外からの参加者を交えたイベントを開催。昨年四月には会のメンバーや登山愛好者約二百人が参加して初の「山開き」を実施するなど、活発な活動を続けています。

スノー登山に参加した高柳豊さんは「事前に何を準備すれば良いのかなど、経験豊富な役員の方が親切に教えてくれるので頼もしいです」と話してくれました。



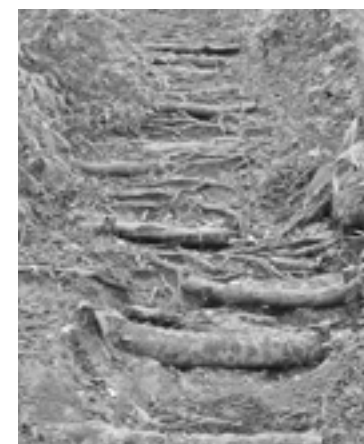
「スノー登山」（2月19、20日）

愛山会が特に力を入れているのが「小枝のダムづくり計画」です。

落ち葉は本来、土を挙げて取り組むが肥える栄養素となりますが、登山者が登山道の落ち葉を踏み細かくしてしまうため、雨が降ると一緒に流れてしまします。その結果、土が育たず、木の根がむき出しになっていること。

計画は、登山道に落ちている木の枝などを組み合わせたダムで、落ち葉をくい止めようとするものです。落ち葉は止めても水は通すので自然界に戻す試みとして取り組んでいるとのこと。

「このダムづくり計画は、すべて現地にあるものを使うので費用が掛からない、画期的な方法だと思っています。六月と十月の年二回行っていますので、多くの人に興味を持ってほしいボランティアに参加してほしいですね」と幹事長の高松誠さん。



「小枝のダムづくり計画」（愛山会提供）

こんにちは



広場に遊びに来た子どもと

地域の役割・果たせる広場に

古瀬 眞沙子さん (57歳・高砂町)

ショッピングモールVIO内にある子育て交流広場「ちくたつく」が、4月にNPO法人を取得しました。今回、代表を務める古瀬さんにその経緯や思いをお聞きしました。

——広場名称の由来は何ですか。

時計の長針と短針を親子の関係に当てはめ広場の名前にしました。出会い、遊び、触れ合える広場でありたいと思い活動しています。

——職員は何人いますか。

保育士の資格を持つ人など5人で運営しています。子育ての中心は親子なので、広場に集う親子に対して特別な援助や指導は行いません。何げないあいさつから心が通い合い、悩みなどを共有できるように、常にお母さんの目線で接するように

心掛けています。

——なぜ、NPOを取得したのですか。

子育ては本来、隣近所や親類などたくさんの人や地域の見守りの中で行われるものですが、地域のつながりは薄れてきています。任意団体のままではお母さんの悩みを聞いてあげることしかできません。今子育てしている人の、地域の役割を果たせる広場にしたい。そう思うようになりました。法人格を取得して自分たちのやる気を示し、行政や企業に働きかける橋渡しができれば、お母さんたちの要望が実現できるのではと考えました。

——どんな要望が多いですか。

子どもが病気になったときに預かってケアする病児保育や、母子・父子家庭、外国から来た人の子育てなどいろんなニーズがあります。

——今後、どんな広場にしていきたいですか。

お母さん同士が出会い、話し合うことで育児書よりも説得力のある助言が得られ、気持ちが安らぎます。家では見ることのできない我が子の違う一面を発見できたと喜ぶお母さんもいますよ。ショッピングセンター内にあり土日、祝日でも開いているので、休日の子守りに困るお父さんなども来てほしいですね。

——ありがとうございました。

※NPO (NonProfit Organization : 非営利組織の略)

政府や私企業とは独立した存在として、市民や民間の支援のもとで社会的な公益活動などを行う組織や団体のこと



三根 沙織さん

(下庄小学校三年)

学校ではたまごっちとポケモンがはやっていて、私もピンク色のたまごっちを持っているよ。児童クラブに入っているの、学校終わったらそのまま北部児童センターに行っただ宿題するの。ダブルチーズバーガーが好きで、注文するときはいつもこれ。給食の牛乳は我慢して飲むけど、家では絶対に飲まない。だって味が変だもん。今はバドミントンの練習しているけど、将来は、お父さんがしているテニスの選手になりたいな。

このコーナーでは、小学生以下の子どもたちにスポットを当て、その素顔に迫ります。記念すべき一回目は、2月13日に開かれた「ふるさとかるた決選大会」の会場にお邪魔し、話を聞きました。

いきいき大野っ子



東 浦山 祐希さん・右 菜摘さん・左

(有終西小学校四年)



亀山保育園の時から仲良しで、学校ではゴム飛びなどして遊ぶの。好きな授業は体育で、体を動かすのが好きだから。学校が終わったら家で宿題して、西部児童センターで待ち合わせするの。前に蒸しパンを作ったけど、おいしかったよ。二人とも甘いものが大好きなんで、ケーキ屋さん(浦山さん)とドーナツ屋さん(東さん)になるのが将来の夢。一緒のお店で働けたらいいな。

お知らせ

●大野市役所・大野市教育委員会 ☎0779・66・1111
住所 〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

4月8日(金) 春季消防総合訓練を実施



明治21年(1888年)4月8日、銭湯から出火した火事は、死者3人、被災者4千人を超える被害を出しました。当時の大野町役場はこの日を「大火記念日」と定め、防火に立ち上がりました。大野地区消防本部では、この記念日に文化会館周辺で消防総合訓練を行います。訓練当日は午前9時に2回、亀山のサイレンが鳴りますので、ご承知ください。また、会場の文化会館駐車場や周辺の道路には、前日(4月7日(木))の夜から駐車しないください。

中挾団地など入居者募集

都市整備課

○特定公共賃貸住宅

中挾団地(1戸)

規格 2DK風呂・トイレ有

家賃 月額5万7000円

○東二番・西二番町家住宅

規格 4DK、3LDK、

2LDK(風呂・トイレ有)

家賃 月額5万1400円

〜7万4000円

資格 一定の収入基準を満たしている人

申込・問合せ先 都市整備課

住宅緑地係 ☎66・1111

1内線354)

介護保険の認定調査 嘱託職員募集

福祉課

募集人員 1人(採用予定日

平成17年5月1日)

業務内容 介護保険の認定調

査と事務

勤務条件 「市嘱託職員の任

用等に関する要綱」による

受験資格 昭和35年4月2日

から昭和54年4月1日まで

に生まれた市民で、介護支

援専門員の資格を持つ人
※要綱上、給与と年齢が連動
するため年齢制限あり

採用試験

日時 4月24日(土)午前10時〜

場所 市役所

内容 面接試験

申込方法 市販の履歴書に必

要事項を記入し、「介護保

険嘱託職員受験」と朱書き

して、直接持参または送付

申込締切日 4月15日(金)(当

日消印有効)

申込・問合せ先 福祉課高齢

福祉係 〒912-8666

6大野市天神町1-1(☎

66・1111内線482)

平成17年国勢調査 調査員を募集

情報広報課

平成17年は、5年に1度実

施される「国勢調査」の年で

す。担当調査区への調査票の

配布と回収、点検などを行う

調査員を募集します。

対象 市内に住む20歳以上で、

調査で知り得た秘密を保持

でき、警察や選挙、税務に

直接関係のない健康な人



城まつり生音頭など 演奏への参加者募集

生音頭育成保存会では、毎年お盆に開催される「おおの城まつり」の「おおのおどり」で、生音頭や演奏に参加する人を募集しています。

歌、太鼓、三味線、笛など何でも結構です。

問合せ先 城まつり実行委員会
(大野商工会議所内 ☎66・1230)

kokutyoo@city.ono.fukui.jp

テーマ「昭和の暮らし」 写真やネガ募集中

市史編さん室

市史編さん室では現在『民俗・方言編』を編集中です。

その編集にあたり、昭和30年代から40年代にかけて人々の生活ぶりを写した写真やネガを探しています。

牛馬で田畑を耕している風景や家族みんなで田植えをしている様子など、何でも結構です。連絡をお願いします。

問合せ先 市史編さん室(市図書館内 ☎65・5500)

ごみ・休日受付

平成17年度の「休日粗大ごみ特別受付日」は次のとおりです。

日程 4月3日・6月5日・7月10日・
9月4日・10月2日・11月13日
平成18年3月12日（各日曜日）

時間 午前8時30分～正午

対象物 家電製品や自転車、家具など
※燃やせるものは縦70センチ、太さ10センチ程度にしてください

対象とならないもの

家電リサイクル対象4品目(テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、エアコン、洗濯機)、タイヤ、パソコン、農機具類などの産業廃棄物

手数料 有料

その他 粗大ごみは、ごみステーションに出さないでください

問合せ先 クリーンセンター
(☎65・6120)

国民年金

学生で、本人の所得が一定額以下の場合、申請し承認を受けることで国民年金の保険料を後払いできる「学生納付特例制度」があります。

承認を受けると、在学中にもし障害者になったときに満額の障害基礎年金が受けられます。

前年の所得を確認するため、申請は毎年必要です。印鑑と、在学証明書が学生証の写しを持参ください。

制度の承認月 4月分～翌年3月分
申請・問合せ先 市民課国保年金係
(☎66・1111内線456)

市民のうごき

		3月1日現在	前月	比
世帯数		11,976世帯	-17世帯	
人口		39,310人	-36人	
内訳	男	18,736人	-28人	
	女	20,574人	-8人	
2月中の異動	転入	44人	出生	24人
	転出	68人	死亡	36人



第27回大野さくらまつり

日程 4月3日①～18日⑩
会場 亀山・義景・有終公園
お祭り広場(有終公園)
9日④ 午後5時～8時
ふるさと大使委嘱式やぼんぼり・あんどん点灯式など
10日⑩ 午前10時～午後3時
ちびっこ太鼓演奏など
問合せ先 (社)市観光協会
(☎65・5521)

高齢者への弁当配達ボランティアを募集

福祉課

活動内容 一人暮らしのお年寄りへの昼食配達と安否確認(月2回程度)

対象 自家用車で配達できる人

申込締切日 4月15日④

申込・問合せ先 福祉課高齢福祉係(☎66・1111内線484)

関東風と関西風桜もち作り参加者募集

勤労青少年ホーム

日時 4月12日④午後7時30分～

場所 勤労青少年ホーム

定員 15人(先着)

参加料 600円(材料費)

持ち物 エプロン
申込締切日 4月8日④
申込・問合せ先 勤労青少年ホーム(☎65・7221)

初心者硬式テニス教室 受講生を募集

市テニス協会

日時 5月14日から6月4日

までの毎週月・木・土曜日
午後7時30分～9時

場所 明治公園テニスコート

定員 40人(先着)

参加料 3000円(保険料含む)

申込締切日 5月10日④

申込方法 住所、氏名、連絡先をファクスまたはEメールで

申込・問合せ先 市テニス協会・坂本靖さん(☎66・0



電動車いす・歩行器購入補助事業が終了

サルやイノシシなどの有害鳥獣から農作物を守るため、電気さくを設置する場合、その購入に対し補助します。た

活用ください 電気さくの設置補助

農政課

804) Eメールアドレス notem@nkyo@yahoo.co.jp

だし、設置するさくの長さが合計200センチ以上必要です。
対象 集落のおおむね半数以上の農家が有害鳥獣の被害を受けている地区で、農業者が組織する組合

補助限度額 50万円(購入費用の2分の1以内)

問合せ先 農政課農業振興係(☎66・1111内線313)

高齢者が外出時に使用する歩行補助用具(電動車いす・歩行器)の購入補助が、平成16年度で終了となりました。
4月以降に購入しても補助が受けられませんので、注意してください。

問合せ先 福祉課高齢福祉係(☎66・1111内線484)

感性はがき展 『川』 最優秀賞は大野さん(高知県)

「川」をテーマに全国から募集した「第4回越前大野感性はがき展」の表彰式が3月12日、平成大野屋平蔵で行われました。応募総数3417点の中から最優秀賞に選ばれたのは、高知県の大野一雄さんの作品。大野さんは、全国の大野姓に支店主となってもらい交流や情報交換などを行う平成大野屋事業で、南国支店主として活躍しています。「第2のふるさと大野で、このような賞が受賞でき、感慨無量です」と受賞の喜びを語ってくれました。



健康メニュー知って

「健康のために何をどれだけ食べればよいのか」を知ってもらおうと「健康ランチバイキング」が2月27日、保健センターで開かれました。市食生活改善推進員連絡協議会（若葉会）が主催して毎年開かれているもので今回が7回目。参加した市民約50人は、自分の体に合った「適量」を考えながら、主食やおかず、果物などを選んで食べていました。

家庭看護のコツ学ぶ

市赤十字奉仕団主催の「家庭看護法講習会」が2月18日、市役所で開かれました。団員と一般参加者約30人が受講し、家庭でできる看護方法のコツを学びました。



高橋美智子指導員（左）から実技指導



市民約180人の前でヨサコイ踊り披露

生涯学習活動など発表

市内で活動を展開する4団体と行政から2つの課が、活動や事業の内容を発表し合う「生涯学習フォーラム」が2月26日、有終会館で開かれました。小山愛育会は、会結成の経緯やヨサコイ踊りに取り組む様子などを発表しました。

話題のひろば

はつま 「初午だんごまき」にぎわう

木本区に古くから伝わる「初午だんごまき」が3月11日に行われました。会場の岩崎稲荷神社は、火の用心や無病息災を願ってまかれる縁起物を求め、たくさんの人たちでにぎわいました。



春の調べにうっとり

当市在住のバイオリニスト、松谷由美さんと県内外の音楽家によるコンサート「奥越前に春をよぶ音楽会」が3月4日、文化会館で開かれました。5回目を迎えた今回は弦楽四重奏にマリリンバとピアノを加え、「春がきた」や「花」など季節感あふれる楽曲を次々と披露。会場に詰め掛けた約350人は、うっとり聞き入っていました。

全国初優勝の喜び報告

スノーボードクロスの全日本選手権で初優勝した吉田宏美さんが3月11日、市役所を訪れました。吉田さんは、スノーボードを始めたきっかけや大会での様子などを市長に報告。「来年のトリノ五輪から正式種目になるので、ぜひ出場したい」と今後の意気込みを語ってくれました。



上舌区（3月13日落成）

ふれあい会館落成

上舌区と阿難祖領家区で整備が進められていたふれあい会館が落成しました。ともに木造平屋の建物で、上舌区は面積約175平方メートル、総事業費は約2千600万円。阿難祖領家区は面積約185平方メートル、総事業費は約2千200万円です。今後、区の会合や研修会などむらづくりの拠点として利用されます。



阿難祖領家区（3月6日落成）

表紙のことば

七間朝市が3月20日、約3カ月ぶりに再開されました。通りには春を感じさせるネコヤナギやフキノトウ、冬の間保存しておいたサトイモやダイコンなどが並べられ、市内外から訪れた大勢の買い物客でにぎわいました。朝市開きに合わせ「七間・春の一番市」も開催。無病息災と商売繁盛を祈る神事後、振る舞い酒、招福もちまき、ミニ・コンサートと続き、花の苗の即売市には長蛇の列ができました。買い物客は、久しぶりに会う農家のおばちゃんたちとの世間話を楽しみながら、お目当ての品を買い求めています。この日は「越前こぶし組」による人力車の運行も再開され、車上から朝市を楽しむ観光客の姿も見られました。

編集後記

4月は始まりの季節。進学や就職で新しい生活を始めた人も多いのではないのでしょうか。「広報おおの」も紙面をリニューアルし、新コーナーをスタートさせました。巻頭・巻末ページをカラーにしたほか、お知らせや市民のページはレイアウトを変更。新コーナーとして、市内の元気な子どもを紹介する「いきいき大野っ子」を設けました。表面だけのリニューアルにしないよう、次は内容の充実が肝心。皆様のご意見・ご感想をお待ちしています（竹田）



西応寺（今井十五一三）
 国道157号から今井バス停を南に折れ、約四百坪の所に位置しています。本堂は一七五四年に再建、住職や家族の住む庫裏は一八二八年の建築とされています。

景観特選おのの²⁵

市が認定した、将来に残していきたいと思う、大野らしい建築物や自然などの景観を紹介します。

高尾利昭邸（大矢戸二十六一二）
 国道157号から新在家バス停を西に折れ、西大月橋を越えて約1km。大矢戸集落センター前に位置します。生け垣と調和した重厚な門が特徴的です。



児童生徒数の減少に伴う適正な学校教育のあり方が問われているが、小学校新一年生はかろうじて三百人台を保った▼

教育理念や教育システムの違い、教育効果からみて絶対的な適正人数というものはないと考えられるが、一定集団による活動で教育効果があるのは一学級二十人から三十人程度といわれる▼一学級六十余人いて、教室から廊下へ出るのに机の上を飛び歩いた世代は、そんな多人数の群れでもいつのまにかお互いにルールや躰ができていたと語る▼当時は自分の親だけでなく近所の大人や地域社会全体が子どもを教育し、安全を見守ってくれた。そのころの躰の基準は地域社会全体も各家庭も同じだった。今は躰にまで個性とか親の好みのようなものが入ってきて、各家庭の躰も基準がバラバラになっている▼市内量販店のショッピングカートで走り回って遊んでいる子どもを注意したら「カラスの勝手でしょ」と替え歌でかわされた上に「子どもが楽しく遊んでいるのに何で他人から注意されなくてはいけないの」と、親から文句を言われた▼地域社会の中で他人とのコミュニケーションをとるために最低限のルールがあり、それを教えるのが大人の責務である。カラス（子ども）の勝手でしょという子どもをなくしたいものだ。そのためには学校、保護者、地域がともに責任を持ち、子育ては地域社会共通の営みであるとの認識連帯が必要である（安田）